

平成 27 年度「みんなで支える森林づくり木曽地域会議」（第 2 回）実施概要

1 日 時 平成 27 年 12 月 8 日（火） 13 時 30 分～16 時 30 分

2 出席者

木曽地域会議 神村光雄委員（座長）、唐澤達夫委員、栗屋正一委員、下原洋子委員、瀬戸普委員、長渕昭子委員、古根妙子委員、古幡和久委員(五十音順)

木曽地方事務所 吉江所長、松原林務課長、巾崎課長補佐、熊谷担当係長
岡田鳥獣対策専門員

3 実施内容

(1) 現地視察

①木曽官材市売協同組合荻原土場 上松町大字荻原字中島 1431-1

・ 民国連携による生産材の状況

木曽官材市売協同組合の原田専務理事より、木曽官材で取り扱っている民国連携で搬出された木材の状況（数量、販売先、用途等）の説明後、荻原土場の現地視察を実施した。

②御料館（旧帝室林野局木曽支局庁舎）木製遊具施設 木曽町福島 5471-1

・ H26 年度森林づくり推進支援金事業の実施状況

御料館の管理に関わっておられる古幡委員より H26 年度の森林づくり推進支援金で整備された木製遊具施設の利用状況の説明を受けた。

施設が整備されたことで、利用する地元の子育て世代の母親の新たなコミュニティができたり、木曽管内に転居してきたばかりの母親の出会いの場になどとなっているとのことであった。

(2) 会議

御料館（旧帝室林野局木曽支局庁舎）2階会議室

吉江所長の挨拶後、神村座長の進行で会議を行った。

会議事項

① 森林づくり県民税活用事業の実施状況について

森林づくり県民税活用事業の実施状況を説明し、委員からは、意見はなく了承された。

(2)その他

北安曇管内での補助金不適正受給に関する調査報告、及び今後改善に向けたコンプライアンス推進計画について説明した

委員からは、以下のような意見があった。

（委員からの意見）

委員

大変厳しい状況の中、しっかり事業を進めていただいていることに感謝する。

今後不明な部分があるが、森林税は良い形で使われていることがあるのでよろしく願いしたい。

委員

大北森林組合の専務理事個人が誤魔化したことで、森林、林業に関係する人間の信用を失墜させたことが切ない。

納税者としては、だまされたという意識である。

今回の一件の実態が把握されてきたので、森林組合の執行部については刑事処分も仕方ない。

長い間誤魔化して請求してきた方もそうだが、支払った方も馬鹿げており、そういう点での不信感がある。

北安曇の林務課は、おかしいという感覚がなかったのか、あまりにも審査が甘すぎたのか、それが林務の体質であれば問題である。

今回の場合は林務課の職員がペナルティを受けるのも避けられないかと思う。

委員

森林組合全体への風当たりが強くなっており、管内の森林組合は皆迷惑している。

基本これまで性善説で進めてきたのが、そもそも論でおかしいやり方であったといわれるが、木曾は違ってきちっとできていた。

森林税への意見には、いろいろあると思うが必要な財源であり、継続してもらいたい。

現在木材を何とかしていきたいというところで何とかしていくためのよい事業であり、木曾谷にはぜひ必要。

委員

町村会としても、森林税は長野県として価値のある制度でぜひこの流れを続けていってもらいたい。

山村部に比べ、都市部では違った受け止められかたをしていると思う。その点をしっかり払拭できるように、説明してわかってもらうようにしていただきたい。

森林税が立ち消えにならないことが心配である。

今回のことで間伐推進の動きが委縮せずに、流れが止まらないように進めてもらいたい。

林務部にも、中身ではしっかり法令遵守などコンプライアンスを大切にしてもらい、委縮せずに仕事をしてもらいたい。

委員

森林整備は、森林税などでいっそう進めてもらいたい。

地域の人と話した限りは、森林税に対するマイナスの意見はほとんど聞かれなかった。思ったほど気に留めていない人も多い印象もある。

事故でのヒヤリハットの対策ではないが、今回のようなことも今後は酷くなる前のヒヤリハットで止める勇気を持って是正してもらえればよいと考える。

森林が国土を支えているので委縮せずやってもらいたい。

森林に関する仕事は、大事な仕事をしているというプライドを持って、きっちりとやることはやっていただきたい。

委員

これだけの大金が不正に流用されたことには、問題を起こしたところのモラルのなさを感じる。

森林税による交付金などはまだ必要とされており、こうしたことが二度と起こらないようにしてもらうことが重要である。

委員

非常に残念。

ケリをしっかりとつけて委縮せず、今後の森林整備をしっかりとやってもらいたい。

委員

今回の不正については、初めに聞いた時に感じたイメージと調査が進んできた内容が大きく違っており恐ろしい話だと感じた。

こちらは、今までどおりしっかりとやってもらいたいと思っている。

委員

森林税の事業に関しては、継続してやってもらいたい。

問題が発生していないところにも迷惑がかかって大変だと思う。

何か起きた時にやっていないところでもどこにでも起きうるミスが多く重なって起きているので、ミスが重ならないように注意して、しっかりと堂々とやってもらいたい。

委員

地域会議として、木曽地域は、問題なく事業を推進してもらっているので、しっかりと頑張ってもらいたい。